

《担当者名》 丸川活司、近藤啓

【概要】

病理診断学、細胞診断学とは疾患の本態を主として形態学的な立場から探求する学問であり、基礎医学（解剖学・生理学・生化学など）と、臨床医学（疾患の診断・治療を探求する）をつなぐ位置を占めている。これまで習得してきた解剖学、臨床病理検査学、臨床細胞診断学、臨床細胞病理学実習の知識を基に、人体病理学、外科病理診断学、細胞診断学、分子病理診断学について総合的に理解することを目的とする。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に興味を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。